

兵法の拍子の事 地之巻

我兵法を学ばんと思う人は、道をおこなふ法あり。

- 第一に、 よこしまになき事をおもふ所  
(誠実、実直であること)
- 第二に、 道の鍛錬する所  
(鍛錬すること)
- 第三に、 諸芸にさはる所  
(多くの芸に触れること)
- 第四に、 諸職の道を知る事  
(多くの職業を知ること)
- 第五に、 物事の損得をわきまゆる事  
(物事の損得を知ること)
- 第六に、 諸事目利を仕覚ゆる事  
(諸事万端を自分で判断する力を養うこと)
- 第七に、 目に見えぬ所をさとつてしる事  
(目に見えない部分を悟ること)
- 第八に、 わづかなる事にも気を付くる事  
(小さなことにも気配りすること)

(026)

第九に、 役にたゝぬ事をせざる事

(役にたたないことはしないこと)

大形如此理をココロニかけて、兵法の道鍛錬すべき也。

宮本武蔵の『五輪書』が面白いほどわかる本 集英社文庫

細谷正充